予防接種を受けた後の注意

1. 接種後30分は院内でお待ちください
接種後まれに強いアレルギー反応が起こることがあります。院内で30分お待ちいただき、気分が悪い・息苦しい・じんましんが出るなどの症状があれば、すぐにスタッフへお声かけください。30分たって変わりがなければお帰りいただけます。お帰りになった後も、当日は体調の変化にご注意ください。

2. 当日の過ごし方
入浴は差し支えありません（接種部位を強くこすらないでください）。激しい運動と大量の飲酒はお控えください。接種部位は清潔に保ってください。もんだり冷やしたりする必要はありません。

3. 起こりうる反応
注射した部位の赤み・腫れ・痛み、硬いしこりがみられることがあります。多くは2～3日で軽くなります。発熱・頭痛・だるさが出ることもあります。
まれに、ショック、アナフィラキシー、急性散在性脳脊髄炎（ADEM）、ギラン・バレー症候群、けいれん、肝機能障害、黄疸、ぜんそく発作などが報告されています。息苦しさ・意識がもうろうとする・けいれん・手足の力が入らない・高熱が続くなど、いつもと違う症状があるときは、すぐに医療機関を受診してください。

4. ほかのワクチンとの間隔
インフルエンザなどの不活化ワクチンは、ほかのワクチンとの接種間隔に制限がなく、別の日であればいつでも受けられます。注射の生ワクチン（麻しん風しん・水痘・おたふくかぜなど）どうしの場合のみ、27日以上あけます。当院で同時接種を行っているのは、インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンの組み合わせのみです。そのほかの組み合わせは、日を分けて接種いたします。※以前は「2週間以上あける」とご案内していましたが、令和2年10月の制度改正で不要になりました。

5. インフルエンザワクチンを2回接種される方へ
13歳未満のお子さんは2回接種です。1回目から2～4週間あけて2回目を受けてください（効果の面では4週間あけるのがおすすめです）。2回目もWEB予約が必要です。接種は1シーズン2回までです。

6. インフルエンザは何回受ければよいですか
13歳以上の方は原則1回で効果が期待できるとされています（海外の多くの国も1回接種です）。日本では添付文書上「1回または2回」と併記されており、2回受けるとブースター効果でより確実になると考えられています。受験や大切な予定を控えているなど、ご希望があれば13歳以上でも2回接種が可能です（2回目は1回目から2～4週間あけてください）。

7. 接種後に体調を崩されたとき
接種が原因と思われる健康被害については、救済制度があります（65歳以上の定期接種は予防接種法、それ以外の任意接種は医薬品副作用被害救済制度）。該当が疑われる場合は当院にご相談ください。

8. ご不明な点は
接種当日・翌日以降を問わず、ご心配な点があれば当院までご連絡ください。
電話 048-793-7363
ワクチンごとの説明は、右のQRコードからご覧いただけます。